事業N	推進 2. 施策	具体的な取組	条例の 条数	再掲	事業	事業概要	平成26年度実施状況	平成26年度 の達成度	平成27年度実施状況	平成27年度の 達成度	平成28年度実施状況	平成28年度の 達成度	3年間の成果と課題	3年間の自己評 価	平成28年度の所管 局	平成28年度の所管課
346	(28)	子どもが安心して 気軽に相談できるよ ④ う、相談カードの配 布や子ども発産の実 施等を行います。	35条	209	人種オンプズバーソン広 報・ 宮 紀事業	人様オンプズバーソン子とも指数カードやボスター、パンフレットの認和や動画の効果をを行い、制度の周知と利用の 促進を図る。	市内の学校を通して全児童生徒に相談カードを配作した。また、中学化1年生以下の子と を記作した。また、中学化1年生以下の子と オラン全部帯によ。ポスシーは各学法、 第1、ピアランを使用した。ポスシーは各学法、 で、また、159年時間を各名の第一、アゼレア ビジョン等で放映し、モシに、最初1741年区 第1、227分 第3万倍で第1人に、 単生表は、新に12中学生均3万代抽画を作数す もとした。パーソン連絡を持ちいた。		市内の学校を通して全児産生後に相談カートを影響した。また、中学的1世生以下の7年を を影響した。また、中学的1世生以下の7年を 場合してラウルを開発した。ボスクーは5年を サイナラウルが、は、ボスクーは5年を サイナリーは10世年の1世界の1世界の1世界の1世界の1世界の1世界の1世界の1世界の1世界の1世界	3	市内の学校を通して全売屋生徒に相談カードを配布した。表定、中学校1年上以下の子どもを行った管理を開着した。大変、中学校1年上以下の子どもを行った管理を た。元次9~6年9年9年、子で即帰職を終め、公共開版・公共開版・ た。元次9~6年9年9年、子で即帰職を各位役 系、アゼリアミンライで開版した。また。人参サンプス を区が対するから、で終めてした。また。人参サンプス を区が対するから、であれてした。また。人参サンプス 生まさ、20年7年の全生位とかした。なお、子せ もずまで、20年7年の全生位とかした。なお、子せ もが、発展開始は1年4年7年2年2年2年2年2年2年2年2年2年2年2年2年2年2年2年2年2年2	3	■成果: 26年度から、相談カードを定規型(じょうぎがた)に 変更し、子どもが持ちやすい地とし、市がり中高等学校に登むし 反抗の、母学の前が特別能を作成、子ども数をで活した。 また、何日も恵さ込めるクリアフォルダを作成した。 ■ 「子どもの様知」に関連して、子どもからして子どもの様利 の根面について、相談できるよう制度の原知を図った。 連盟・引き地をよ、様本プアプレーソン制度を見到するため、 様々な手法を活用した広義・自発を行う必要がある。	С	市民オンプズマン事 接局	人権オンプズパーソン担当
347				270	人権オンプズバーソン子ど も数至推進事業	人権オンプズバーソンや専門調査機が 学校等を打造し、制度や単額等例の紹 か、いしかか、共産に関する話をすること により、人権オファブズバーソンをより身 近に相談できる機関として同知し、利用 の促進を図る。	中学校4校、小学校8校で人権オンプスバー ソンデンと数整を実施した。「緊急に同でも用 設定する、受りがあった場できる。例かあったら 相談したい。」という感動が、小学校・中学校 合わせて影応的をなった。	3	・ 中野女 4 後、川市時名 6 で、用意 2 4 年度に 作事したは高等長 6 V D V の中華地と 1 年後 した中 等を対け 3 計画 1 を 1 年 7 日 大 2 年 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7	3	ロ学校4校、川学校合校で、近朝原発用DVDや単原之 6年度に作製した中学生向サ戸特別語などを活用して、人 権オンプスペーソラぞと影響を整度した。うち中学校 1校については、前院女化大使から影響。汗在を記書して で、パーペンティと影響では、「アくちの解料ノート」な とを活用したロールラレイソクなどを用いて実施した。	3	■原果: 平成28年度の小中学校のアンケート接集では、子ども 教室は分かりやすかただと表示まが分かったが90%を超えている。 4、そしかの機能に、関連して: 子どもが安心して子どもの特別の関連について特別できるよう。人種オンプズバーソン子ども教 変を実した。 単語: 引き換え、わかりやすい方法で、子ども数室を実施して、 は2部: 引き換え、わかりやすい方法で、子ども数室を実施して、 は2部: 引き換え、わかりやすい方法で、子ども数室を実施して、	С	市民オンプズマン事務局	人権オンプズパーソン担当
348	(29)	相談・数済機関について、ホーム・フリマによりテとかとなって、大田のでないして数単に相談できるように、関係機関以及び団体と連邦機関以及び団体と連邦機関を持ちます。		320 ;	かわさきしこともベージ	子どもにわかりやすい事でで、各別に ついてやイベント、和認定の立即等など を別略がホームータ」で発電するで で、子ともがより豊かに生活し、社会に 参加するきっかりづくりかできるよう支 接する。	ページ内の全ての漢字・カタカナにルどを心 をなく子ともにかかりない。特殊では他がの様 トラルンター・ポーマで観した。夏かかで トラルンター・ポーマで観した。夏からない カミ、子との意思体験に合われて影性を行って イントンの場合と学りたく歌人。 毎日の 毎日の最初することで子どもの社会参加の場合を 優した。	3	引き換きページのの全ての漢字・カタカナに ルビをらるなど子ともにかかりなりは要なで とも切っイベントなどを掲載した。また相談する なるよう。ページの理なが起した。また相談する なるよう。ページの理なが起した。各種数や子 いた。例如の場合を発生した。各種数や子 い、一郎ページの場成を見直すると、選近な ホームページの地理・楽器を行った。	3	ページ内の食での選挙・クタケナにルとなるをおど子 どもにかかります。実施でそそも向けイベントをどを構 組した。要はかをおかる。子どの実験は知る合すして 可能でわるイベントの情能現状を分けて放射し、勝新 の情をで構成してそものは合意の現をはでした。 だこな経過期の助りページをより見いがくなかかりますくな を した。 した。 した。 した。 した。 した。 した。 した。 した。 した。	3	■原果:子ども向けイベント情報の複数や相談ページ。広報経験ページの設定を通して、子どもが自分で情報を指せる見やすいページを設すできまった。 ■ 「子ともの様式」に関連して:全ての漢字・カタカナにいたをいう。子とも力をすいようことの。 単語を:ホームペーンの問題を対象していないため、即かのイベント情報の指導をはこる情報の実施をいわった。フィンの地域と、子ども対象しめるような様になってテンツの思比なと、「ことをページ」そのものの広報及び、魅力的な見せかの検討が必要である。		こども未来局	两少年交接室
349				119 215	要保護児童施設の整備	指導点が戻しも対称できる高度専門的な相談・対象体を整名、原理制度が を相談・対象体制を整名、原理制度が 動談等で増金とは乗びできるよう、処理 の向上及び処理の地の地がを図る。	専門的アアを行う施設監備を進めるととも に、銀行が直接機能的の必然にあたっては認め の認めからまる他のが機能と認り、可能の の認めからまる他のが、機能と同じ によっている。 を のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	3	専門的心理フアを行う情話障害特別取込機所 整 計開をご告い他サアセンターがなご」の間 所により場下では実施制を批けするという の方式と対象では実施制を批けするという。 の方式、入所行軍の処理の向上に努めた。	3	施設の実施が共生4月に関いし、教育委員会で施設を と連携を図りながら、教育・変悪・必要等が連携しなか ら専門の支援が行わける体制を確保した。 現金製施施の支援の方でようが開発ニーット日間 現金製施施の支援の方でようができる環境と監備し た。	3	■成果:場合の心理ケアを行う情話問題内切割治療能力を平成 プイキし月に中原氏に解析し、専門相談支援体制を拡充するとと むに、気管が遺棄機器が近くかいてきな影響を行い、小規模ケ ループアクの多人など外別を認かがありまして多か。 ■ 「子ともの維制」に関連して、卵量解射法の必正により、実施 の実験が必要しない卵道について、変量に関連が速度での解析 や見好な製団の設定で開発推進することを切かられており、 オルニがしての開催メリル・プラグを含し、化燃料につけるの カー能の発達と思うを必要がある。 一型整一能以上がはり対象サループケアの導入が急入、回路 のに顕射体的が表がからだけ、いるところであるが、見等性的の のに関係体的が表がからだけ、いるところであるが、見様性的が はずからかして、トントで電響から外でよっなくなるとは形式と対象が が生しる可能性があるため、引き終き権利機能に向けた取締を推 達する必要がある。	С	こども未来局	ことも保健福祉課
350				65 120	思春期保險相談	各区点種類社センター及びこども実施 センターにおいて、密密能の形式及びその の保護をごない。このでは を対象に一般の情報を対象に対し の別様を行う。また、集団所名により 正し、別隣の自及・信集を図る。	保護福祉センターに対いて学校保健と譲渡しながら、住宅会がためや身体の企業がついて無 が高いような優別を実施し、電が高いません。 は一般である。 よる。 よる。 は、日本学校、保証は自然の人が中の 中国主)にて、関係を記憶を従って、 り、 の事と、にて、関係と記憶を従って、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、	3	保護指社センターにおいて学校保障と連携しながら、任を含めたらや争体の連集について第 にかって、任を含めたらや争体の連集について第 にかって、はないでは、一般を対象が、大阪のの の条として、「大阪の場合とは、大阪のの の条として、「大阪の場合とは一般である。 での集立して、「大阪の場合とは一般である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	3	保護部計センターこおいて契約定職と連絡しながら、 性を認めためや単な地議とついて無路開発しよる健康 対策を整め、重要で地域による認識が必要が実施した。 として、最終に合成し、中心、児童部舗総(入済かのの場生) にて、関係的合成を含む、トナーシップの場象と性感 が企び、からない。 会社の子的について関係会と実施した。	3	■の東、島区高端福柱センターにおいて、思春館の完成及び子の 「課題を任何を出春期計算の心中からだ。任に関することや性感 成性を写べなしの時間を変態した。 また、事が保健と達別しながり集団階等によりに人切認め自 2、一番を実践しない。 ・ 日本ともの権利し、関連して、正しい、認め自身、多称の実施 のが認め組成り表しました。 ・ 日本ともの権利し、関連して、正しい、認め自身、多称の実施 のが認め組成り表しました。 ・ 日本ともの権利し、関連して、正しい、国際の自分 でおした。 ・ 国理整・今後七名区に対ける電話・面接での相談の周初を図ると ともし、無理整理が最を認めた実施していくことで、保障報道 ・ 日本の表した。 ・ 日本のまた。 ・ 日本の表した。 ・ 日本のまた。 ・ 日本のまた。 日本のまた。 ・ 日本のまた。 日本の	С	こども未集局位役所	こども原種筋社課 地部がまもり支援センター 地域支援担当
351				73 199 214 217	児童家庭相談事業	子どもに関する様々な影響につき、家 証 その他からの相談に取り、子どもが有 るも認致などその頃のニーズ、子ど もの鑑かれた理場の状況等を的確に定 え、個々の子ども少変返に目が別場がは 援助を行り、シャで子どもの指社を図る とともに、その権利を譲渡する。	子ともに関する様々は問題につき、実践子の 他からの関係に起い、区の研究性影響及代列連 相談所等関係機能との適かのその情報な事格 実施した(平成26年度相談受付件数1,870 件)。	3	子どもに関する様々な問題につき、東超その他からの問題に取り、区の所及りが離析的所 側が構成との連携のもとの情な支援を実施し 定。(平成27年度相談を付件数2773件)	3	アどもに障する様々な課題につき、実庭その他からの相 部に即じ、区名所及び児童問題所名類係機能との連携の もと認識な支援を実施した。(平成26年度相談受付件数 4,680年)	3	■ 「戻を 仮会所及び列屋相談所の連携による支援に関して、子ど もの権利が守られるよう対域を行っている。 ■ 「子ともの種利」に関連して、子とものその変数からの時間が かった場合には、適切な相談支援を実施し、子どもの権利を守っ ている。 ・ 地対する相談に対峙するため、引き続き(医(所)・(外属 関係の最初な事態によりが確な支援を実施するの優力がある。		こども未来局区役所	児童家庭支援・虐待対策室 地域みまもり支援センター地域 接担当
352				218	児童相談所相談事業	相談ニーズの選切な把握と児童の趣思 や気持ちを尊重し、児童が解決の主体と なれるプロセスを尊重した適切な相談援 助を実施する。	複雑・多様化する児童相談に選切に対応する ため、職員一人ひとりの専門性性上に取り組 み、児童に関する等内能が構造として、児童の 悪影や支持与を含重した相談機能に努みた。	3	描述・多様化する児童相談に適切に対応する ため、間長一人ひとりの専門性内上に取り組 み、児童に関する専門経験構成として、児童の 重数や気持ちを尊重した相談支援に労めた。	3	被論・各様化する児童相談に適切に対応するため、 商人一人ひとりの専門性引上に取り組み、児童に関する 専門相談機能として、児童の患恋や気持ちを尊重した 相談支援に努めた。	3	■原果:複雑・四颗点児童素銀相談が燃加するの、児童視聴所職 例の専門性身上に取り結為、児童やその変数に関する専門経験機 限して、相談を放け実を含めた。 ■「子ともの縁和」に知識して、児童相談所が取りる子ともの 相談に対し、子ともの権利と可含という問点から、遊のな相談を 接を実施し、子ともの権利を守るという関血から、遊のな相談を 連盟・温島の専門性的上を機能し、児童に関する専門機能機能 として、児童の撮影や実持ちを尊重した相談場的を実施していく 必要がある。		こども未来局	児童寒難支援・虐待対策室
353					SOSカードの作成・配布	増加し続ける保護虐待の早期発見・予 ちのため、子と自由者が関節の概能をか けられるよう、保護虐待防にセンター等 の電話番号を明示したと剥サイズのカー トを配布する。	子ども自身が関係の電話をかけられるよう、 児童虐待の止センター等の電話番号を明示した カードを市外の全小・中・高校へ配布し、周知 を図った。	3	子ども自身が残骸の電話をかけられるよう、 児童虐情だ止センター等の電話書を明示した カードを内外の全小・中・高校へ配布し、周知 を包つた。	3	子ども自身が開放の鑑賞をかけられるよう。児童虚神的 止センター等の電話器を名明したカードを市内の全 小・中・高校へ配布し、同効を図った。	3	・		こども未来局	児童等庭支援・虐待対策室

事業No.	推進施順	具体的な取組	条例の 条数 再	掲	事業	事業概要	平成26年度実施状況	平成26年度 の達成度	平成27年度実施状況	平成27年度の 達成度	平成28年度実施状況	平成28年度の 達成度	3年間の成果と課題	3年間の自己評 価	平成28年度の所管 局	平成28年度の所管課
354	(29)	相談・数済機関に ついて、ホームペー シ等により発に相称 ⑥ 安心して気軽に相称 できるよう、国際係機 関及び団体と連携 し、子ど七の権利侵 書の特件に配慮した。	35条	児童村	自談所の広報	児童相談所の広報資料等に子ども自身 からの相談も可能なことを記載する等。 子どもが安心して気軽に相談できるよう 広報する。	子どもが安心して気軽に相談できるよう。各様連絡占護や研修等を名用し、児童相談所の広 報を扱った。	3	子どもが安心して気軽に相談できるよう。各種連絡会議や研修等を占用し、児童相談所の広 軽を殴った。	3	子どもが知いして残骸に相談できるよう。各種連絡会議 や研修寺を連用し、児童相談所の広報を認った。	3	■成果・アともが安しして複数に相談できるよう。各種連絡会議 や研修等を活用し、児童相談所の広報を行った。 ■「子ともの権利」に関連して、児童相談所の関連に関する相談 の等性機能であり、そとの機能やさないり指点から変接 行っていることの情報を扱った。 思議者・日本を表した。 報報、日本を表した。 相談のなる。	С	こども未来局	児童家庭支援・虐待対策室
355		相談及び敦済を行い ます。		児童相上による	目談所及び児童虐待的 ンターのホームページ る周知・広報	児童自身が相談しやすい環境を整える ため、児童相談所ホームページにおいて 児童本人から相談できるよう広報する。	必要に応じて、ホームページの掲載内容をより、わかりやすく更新し、周知・広報に努め た。	3	必要に移じて、ホームページの規範内容をより、わかりやすく更新し、周知・広報に努め だ。	3	必要に用じて、ホームペーシの現象が容をより、わかり やすく更新し、周別・広報に努めた。	3	■成果・必要に応じて、ホームペーシの掲載が容をより、わかり やすく更新し、周切・広報に努めた。 ■「孑ととの雑乱」に関連して・児童報節所は関々な相談に応じ る職官であることをホームページに掲載している。 ■理雑・様々な機会において、児童報節所等の周切・広報を実施 する。	С	こども未来局	児童等庭支援・虐待対策室
356				かわさべーミ	さき区子ども子育てジ	相談事業、イベントなど区内の子替 て・子得ちに関する母泊な情報を発信す る。	ホームペーシのあそび、イベント情報等を経験 時更新して、急力な子育で・子育つ情報を提供 した。	3	ホームページを更新し、タイムリーな情報提供 に努めた。	3	ホームページやかわさき子育てアプリ号を更新し、タイムリーな情報提供を行うことができた。	3	■成果:ホームページ、かかさき子育てアプリ等多様な端末を活 利し、機能的な子育で気部的を持備することかできた。 第一千才とわか年刻、に関連して、制御機能の子育で支援機関の情 報告ホームペープ等で発達し、ナモもの権利に配慮した情報発信 着けうことして受します。 ■実際・31歳終さホームページをそが問し、タイムリーかつ分か 少すが「機能設計を行う」	С	川崎区役所	地域みまもり支援センター 地域ケア推進担当
357				525	5情報ネットさいわい	こども支援室で発行している「こども 情報ネットさいかい」(おもこ小学生、 中学生に配か)等において、こども相談 窓口等の広情する。	子どもの時限機関で構成する単位ことも総合 支援ネットワーク会議の総合「情報ネットさい 力が」において、企画機能を行い、7月、12 元、指し79年には一位「400kg 175世 帯)・の学生には一人ひとり(5校2,644人) に配かした。	3	子どもの隣保機関で構成する単位ことも総合 支援ネットワーク会議の総会「情報ネットさい ひいしたかいて、企画職業を行い、7月、12 日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日	3	子どもの関係機関で構成する単位ことも総合支援ネットウーラ会議の総合「精験ネットさいかい」において、 が出版を行い、ア島、10月、12月の3回発行し、区 が出版を行い、ア島、10月、12月の3回発行し、区 が発き渡りには対象によっては、2年の20世界では、 (中間区平間に呼収を含む)には一人ひとり(6枚3.228 人)に影布した。	3	■成果:子どもや保護者が地域とのかかわりを持てる事や権会の 選供な、子どもに関する適成が情報をひとつによとめて発行した。 た。ともの権利」に関連して:子どもの目録に立った習らら が信念を得付して結惑を作成するで、情報について自らら えたり、選択でき、自分で求める権利につながった。 理論:子どもにニーズのある情報の集約が乱について検討が必要である。	С	華区役所	地域みまもり支援センター 地域ケア推進担当
358				なかに		子とも自身が相談機関を検索できるように中原区ホームページ内の「中原区 【子育で】情報ガイドこのかひと〜ま れ】」の中に、「なかねらっこ広道」を 開設し、広衛する。	前年後に3議会、中原区ホームページ内の 「中原区(子育で)情報ガイドこのむびと一ま だ!」の中の小学一級切前イページ「なかは うっこ広急」から あることが、「他の力学と支援団体の送 動物について情報が思さ行った。	3	前年度に引き続き、中華区ホームページ内の 「中暦区、77年で、情報ガイドこの心びと一ま 打!」の中の小学一高校的ブページ「な方は うっこに進」から、日本のナイモを実施的体の活 数号について情報が感を行った。	3	管理事に引き続き、中原にホームページのの「中原を 「子育で」 南東がイトでのがどと一定れて、の世の小学 一名前のオペープであびらって出て、100の子 ども支援団体の活動等について情報発度を行った。	3	画成果、中原医の事業として、「ことでお耳をットワーク」を ・開発さただちゃトワーク」に燃金は、その後でで開始した「こ とも文化セクシーキントの事故」で、「またが、日本の人の の実施が、任ち集付きで、法では、 ・ディントのような、 は、「子ともかり事故できた。 は、「子ともかり事故できた。」で、「子ともかり事故できる権利を生か した。「子ともかり事故できた。」で、「子ともかり事故できる権利を生か した。「子ともかり事故できた。」、「子ともかり事故できる権利を生か した。「子ともかり事故できた。」、「一人」、「子ともかり事故できた。」 は、「本学・ディートリートリートリートリートリートリートリートリートリートリートリートリートリー	С	中哪区役所	地域みまちり支援センター 学校・地域連携担当
359			3:	2 <i>f</i> 2 <i>t</i> 0°3	つくこどもページ	子どもが知ら情報収集できるよう、区 のホームページの児童団リベージ(こと もページ)に区の概要等を優しい文章で ふりがなを付けて紹介する。	月1回程度、掲載内容の再確認・修正等のメンテナンスを行った。	3	月1回程度、掲載内容の再確認・修正等のメ ンテナンスを行った。	3	規範が留の確認・修正等のメンテナンスを行ったほか、 国史師に登録された時間官売遺跡群のページを作成し た。	3	■成果: 高端区の見どころや歴史などをホームページを通じて案 内することができた。 ■「子どもの権利」に関連して: 区外の情報を指針することで子 どもの「自分で決める権利」に思うすることができた。 ■原題: 子どもが飲い / 情報を把握する必要がある。	С	高津区役所	企画課
360			14	子育7 区)	(富納 化乙烷 化二烷 化二烷 化二烷 化二烷 化二烷 化二烷 化二烷 化二烷 化二烷 化二	子育でもの当事者が当事者の目前です。 成と子育で「病情報」と思う場でガイト 成と子育で「病情報」と思う場でガイト な子育で「病から変更数する。中で ホームページでも情報の発信を実施する。	かで終え子育でガイド「とことこ」及び「とことにおびけてソップ」を各り方がである。 ごからないでは、大きないないでは、最高的やロージを表す。 があられて、またが、これで、ファイスファント レイン・ファイスファント リイン・ファイス リイ	2	からまえ帯でガイド「とことこ、及びで ことこおでカヤマンプ 全面原色を子供制作板 に、整路等や当を乗手を使の扱うとことがして 高層をのだめた。大幅との様とことがした。 1 JKに関していた。子様で支替イベント ドイミンとことによった。 ディーストレーストリーストリーストリーストリーストリーストリーストリーストリーストリーストリ	3	かりまえ子書でガイド「とこと」。図訂にあたり、外 思人性形以下理解表写へを達して心がなを追加して改 切の上、新たに「なくのがなを追加して改 切の上、新たに「なくのとなった。 を行した。電前原地的 切べーカルプナイ・国際は一たジーカル、国際したい でな時イベント号を通じて関連の時上に当時の受護を 図、機能加つの場合とできる。 ・現場加つの場合とできる。 ・現場加つの場合とできる。 プロに「地域部肪アアポータルサイトを送明したこども 子育で情報を発現し、 プロに地域部肪アアポータルサイトを送明したこども 子育で情報の発信を行った。	3	順成果: 冊子、WEB、アプリそれぞれの特徴を生かした子育で情報の発信により、より加い範囲で情報を挟し、イベント参加等につなけることができた。 『子どもの様性』に関連して: 小らのがなを追加したことにかやなデナ育にプバイド「こことの表現を関係が過剰になり、自分ではから様性に置することが地域。 『連選:WEDES そくの情報があられる中、よりの開始な出場の実現に向けて発信するが高、タイミングの構造が必要である。	С	营前区役所	地域みまもり支援センター 地域ケア相連担当
361				子育で	でWEB (多摩区)	子ども向けに各種相談先について、 ホームページにより策内し、子どもの相談・投済を促進する。	「多層区子育でWEB」において、子どち向 けの各種物部のロについて、表記の仕方や文書 について影響しながら案内し、すどもの相談・ 数漢を促進した。	3	「多様区子育でWEB」において、子とも向 けの各種間認立にこいて、表記の仕方や文書 について適適しよがら案内し、すともの相談・ 教賞を促進した。	3	「多様区子骨でWEB」において、子ども向けの合理 相談のについて、様記の仕力や欠高についてを通しな から集内し、子どもの相談・教済を促進した。	3	■成果・定能的な情報収集と期間情報の更新によって、地域の大 穴やニーズに合った情報問題をすることができた。 ディンとの事態に、記載して、多様なアンとも関けられ間部では多 で掲載し、必要に取した支援を受ける種様可能が指述された。 理題:情報の目を確認した支援を受ける種様可能が指述された。 ある。	С	多摩区役所	地域みまもり支援センター 地域ケア推進担当
362			3:	**		子ども自身が必要な情報を得られるよう区別所の仕事や株生民に関する情報、 利取機関等についての情報を、ホーム ヘージ(あさおくきっすページ)で提供 する。	写表されくきっすペーシ」で区段所の仕事や 原に関する情報と毎年間接触等の情報を 子どもしてかからする課性した。 か中学 生均けのイベント情報「Ji中学士イベントカレ ンダー」を毎月変新し提供した。	3	「あたおくさっすペーシ」で区級所の仕事や 既生区に関する情報、各種根理機関等の情報を 子どもにつかって選札に、また、カロ学 生間けのイベント情報「加中学士イベントカレ ンダー」を毎月季制し提供した。	3	・ 超級な場合では、「あさおくきっすペーシ」を修正し、 区受所の仕事や原生医に関する情報、各種問題機関等の 情報を子を任したかりでする提供し、また、小学生 向けのイベント情報「小中学生イベントカレンター」を 毎月要削し発射した。	3	■成果・組織情報の運転やイベントカレンダーを通して、子ども の必要とする相談機関やイベントの情報を提供をすることができ た。 ■ 「子どもの権利」に関連して、相談先の情報や、地域で参加で さるイベントの紹介を通して、そももの権金な情報を推進した。 単理部・子ともにわかりやすく情報提供できるよう、内容を検討 していく。	С	弊生区役所	地域みまもり支援センター地域ケア推進担当
363			2: 21	相談 ないで	カード「ひとりで悩ま で」の作成、配布	児童・生徒、数職側に対して様々な相 原機関を匹職したカートを配布し、個別 の俗みに対して教済する支援を行う。	子どもたちがさまざまな相談をできるように 多様な問題機関の自己を選したカートを配所 した。配所が認め、サロル・ロールをデタ、特 の表示を、サロル・ロール・ロール また、市民館・図書館・区段所号にも配架して 活用を図った。	3	子どもたちがさまざまな相談をできるように 多様な相談機関の窓口を掲載したカードを配布 した。配ත3歳は、市立り、中・海等等な、持 労災海等からが連っ、登場・労戦場を見した。 近期を2000年の第一年の大学な、 近期を2000年の大学など、 近期を2000年の大学など、 カードを選供した。	3	子ともたちがさきざまな相談をできるように多様な相談 相談や図口を重観したカードをを向した。配布が優は、 市立外・ロー海等学校、特別支援学校の沙隆・生徒・教 関風会会とした。また、市路後、日本館・区の時帯にも 配学して、近月を図った。今世後は基準区が終りア電速回 場と低して、福子のの総合加談がよりで発達し 所の近極的ない。	3	■成果・多様な相談機関や図口を重要した相談カートを子とせた ちに続けいたことにより、子ともたちがままさまな相談をできる ような理論でくりを図ることができま。 「子ともの種利」に関連して、相談カードの影性を基して、フ の子ともの種利が与いるよう、周明を極めようにした。 ●課題・提出から子ともちにカートの影いがも認明するなど、子とむらが必要なこさに相談機関に相談できるような必慮が必 要である。	С	教育委員会事務局	人権・共生教育担当

	tNo. 推进 施策	具体的な取組	条例の条数	再揭	<u>済(易り早</u> _{事業}	事業概要	平成26年度実施状況	平成26年度 の達成度	平成27年度実施状況	平成27年度の 達成度	平成28年度実施状況	平成28年度の 達成度	3年間の成果と課題	3年間の自己評 価	平成28年度の所管 局	平成28年度の所管課
366	64 (29)	相談・数済機関化・フラミ・ボーターが フラミ・ボーターが フラット・フラミ・ボーターが 安やレースを基の報行 をうとくさに、影機構 原及つ間かくと数、 画の存在に影響人 ・相談以び約済を行い ままり、 ままり、 ままり、 を見い、 ままり、 を見い、 ままり、 ままり、 ままり、 ままり、 ままり、 ままり、 ままり、 まま	35条	221	III関南立学校インターネット問題相談登口	からの電話、メール相談を受け付け、関	相談図口を総合教育センターに移産し、子ど ちでの確認のから本語し、メール相談を受ける 、原語機能等とはながら、無字を図っ は、原語機能等とはながら、無字を図っ は、リープレット及び旧線市立学をインター であった。 、日本のは一般のである。 、日本のでは、一般のである。 、日本のでは、日本のである。 、日本のでは、日本のである。 、日本のでは、日本のである。 、日本のでは、日本のである。 、日本のでは、日本のである。 、日本のでは、日本のである。 、日本のでは、	3	障害で80件ほどの相談がり、そのはには、 しいで対象、ネットののよいか写の形容を多し、 表に、海後200以のサイトの取得を終す。本 現代と書きないとなる場合を表す。本 のでは、まないとなる場合を表す。 ことに対象が、まないとなる情報を表す。 ことに対象が、まないと、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	3	年期90件ほどの相談があり、ネット依存に関する保 増着の時態をはしか。LINEやの書き込み等、ネット いしたのの相談をはしか。ネット外のいしか相談を多 い、また、TVは他でを含まざのではよりサイトの指則 では、相談が観客行うなど、児童生徒の権をなネット 別別関係を答うことに努めた。「保護をはの様なスット 別別関係を答うことに努めた。「保護を同けインターネットガイド(A 3 表現 1 年上 の上間のは、また、TVは、TVは、TVは、TVは、TVは、TVは、TVは、TVは、TVは、TVは	3	■成果:電話及びメールによるネット上の問題に限らず、瓜ぐ 図っている子だも空間運作からの間能を受け、未然的上や等法の 子手のに、駆からことができた。また、いればできるが多数のグ チキのに、駆からことができた。また、いればできるが多数のグ ルを指することができ、手が空間無理に連携し様々なトラブ ルを指することができ、手が空間無理に連携し様々なトラブ ルを指することができ、手が空間無理に連携し様々なトラブ ルで、ラブルをつかを受取り感とのして生活できるよう努 がた。また、簡単類似を作成し、トラブル施にの関係をすること に変かた。また、簡単類似を作成し、トラブル施にの関係をすること に変かた。マントに関する時間をでは、トラブル施に関係をすること に変かた。マントに関する時間をでは、大き、大きでの間様は子 とつまり、大き、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本の とのといるは、日本のでは、日本	С	放用委員会事務局	総合数層センター情報・視聴覚セ ンター
36	65			222	2.4時間電話相談	子ども自身の悩みや、保護者の子育で に関する形分、数雑典の子どもどの駅か りに関する形分等について、電話相談に よって対応する。	年末年始を含め、24時間相談を受け付け、児 質生徒や喧嘩者の相談に加減できる体制をとっ た。977年の相談に対域し、相談の内容によっ て他機関との連携を図った。	3	児童生徒や原賃者の相談に即称できるよう、 年末年始を念め、24時期和散を受け付え、また、総介カードにはGRコードを掲載するな と、より相談しかすくなるよう工夫した。今年 総は1000件の相談に対象し、相談の内容に よって他構成との連携を図った。	3	児童住住や保護者の相談に削縮できるよう、年末年始を書か、24時間相談を受け付できる体制を理熱した。また、根鉱を口はホームページに実験したり、約7カードにはGRコードを発展したか立野が企業があると、より相談しかすぐなるようエ大した。今年後は1152件の機能とびあり、根據のか智によって他機能との連携を図った。	3	■成果:様々な相談に迅速に対応することができた。 ■ 「子どもの権利」に関連して、子どもが困ったことが協みをいっても相談できるようにした。 ■ 理論:相談のこの一番の母別と他権関との円滑な連携を維持する必要がある。	С	教育委員会事務局	総合教育センター 教育相談センター
36	66			223 249 262	教育相談事業	子ども自身の悩みや、保護者の子育で に関する悩み、数額機の子どもどの取り りに関する場合を言っいて、来所面接相 数や電話相談によって対応する。	来所面接相談では、144件の新規相談が多り、約6額近くが不管税に関する相談となっている。また、電話相談では977件の相談に対応した。	3	来所面接相談では、150件の新規相談があり、約6割近でが不登録に関する相談となっている。また、電話相談では1000件の相談に対応した。	3	来所面接相談では、129件の新規相談があり、約7割近く5个登録に関する相談となっている。また、電話相談では1132件の相談に対応した。	3	■成果:様々な相談のニーズに応じて、学校や関係機関と連携 し、迅速に対象することができた。 単一字ともの場所に に関連して、子どもが困ったことや悩みを安 むして相談できる体制を放えた。 理論:・組織機の相談技能の向上と相談窓口の一層の用別を図る が表方がある。	С	教育委員会事務局	総合教育センター 教育相談センター
36	57			247	電話相談ホットライン	学校内外での人間関係などに不安を軽 じている人や他んでいる人向けに、 健告 相談ホットラインを開設し、 相談体制の 構築を図る。	学的の外を向けず、原発生性自身や別人の主念・必要の関係である。 高、他の関係に重大な装置が生じたとき、又 は、生心の最終が多な特徴でしたとき。 単・指数できるとに「ダイヤルとなっ」 は、日本までの教育相談機関に併設する形で 行った。	3	学的の外を問わず、児童生徒自身や利人の生 恋、心急、別単生業主な発電が生したとき、又 は、生じる経験があると物形したときに、通 が、相談に立る社会があると物形したときに、通 が、相談に立るために「249巻できたの楽師と に選記を告述し、だだらこ対象できる体的とは対象保証 で選記を検討し、だだらこ対象できる体的となり 変形を	3	学校の外を削りす。児童生態自身や知人の主急、心臭、 財産に重大な被害が生したとき、又は、生じる危険があ ると地関したときに、通貨・相談できるように「744時間 予核と大塩を開始と開設に、第25年である場合には 環境に電影をも返し、だどちにお助でさるがあり組み 環境に電影をも返し、だどちにお助でさるがあり組み をクップすると連絡がつく仕組りを得入した。	3	■成果:学校内外を限わり、児童生徒の生命、心急、財産工業大 な被断が生じたとき、又は危険があると判断にこれと、活発・ 別地ではる場所があるとした。力が学校の全位産生態、保護者に 別地を含め着ができた。 単一子そもの権利、口間急して、相談された事業の早期祭決によ り、子どもが守られる権利権が開発が指述された。 課題:任意相談であるこか相談者の格で心事態の改善に向けた より発酵の活動を解析となっては実施である。	С	教育委員会事務局	指導線
36	i8			224 250 263	スクールカウンセラーの配 置・活用	面から教育相談に応じる。また、教職員 との情報共有などを通じて連携を図りな	スクールカウンセラーの市立中学校への全校 を選、学校祖国カウンセラーの小学校、高等学 校への演進により、各様におりる相談体制の 存実が図られた。中学的250ペカウンセラーに よる相談は18.053人、小学校では96件、高等 学校では103件の相談があった。	3	スクールカウンセラーの市立中学校への全校 配置、学校巡回カワンセラーの小学校、高等学校への永遠により、各位における結婚体制の 充款が図られた。中学的25秒のカウンセラーに よる相談は18,000人、小学校では90件、高等 学校では1110件の相談があった。	3	スタールカウンセラーを市立中学的へ会校配置、学校 温色かフセラーを市立中学校・特別を研学やは基準 に乗りて深刻、高学学やくは計画を記述することにより、各様における情報を構めが実が知られた。はずることにより、名様における情報を構めが実が知られた。 ム・サー学校・特別定理学校では37件、高等学校では133件の相談かあた。事件事故等による報急批准も迅速に行い対 形した。	3	■成果:様々な相談ニーズにあじて、学校や関係機関と連携しな から対象することができた。 ■「存在の地域」に関連して、子どもが安めして相談できる体 制を扱えた。 ・ 一部語:学校の機能に加くた配謝を含め、充実した相談体制の場 場を認め必要がある。	С	教育委員会事務局	総合教育センター教育相談センター
36	i9			265	スクールソーシャルワー カーの配置・活用	教育の分野に加え、社会福祉等に関す る専門的な知識や技術を存するSSMにより、 の問題を見また児童 生地に対場からの働きかけ が関係機にクネットワークの機能な と、多様な手法を用いて課題解決への対 あを図る	SSWrが、学校からの要請を受け、必要に応じ て児童生徒、保護者、教員等との面談、医療や関 係機関へのつなぎ等を行い、問題を抱えた児童・	3	川崎区(二名増養)して全名名体制とし、砂管に 形して光理生徒。保護者、教育寺との遺態、透療 や機能機能がいったさせらける。建建を持ち で機能があった。 があった。 がからの発達を対すて派遣していたが沈を、各 区・教育部当から夢とが明した場合には認識が の事をあるようにした際、我師学校 数・学校が周囲をともた。大きく増加した。	3	許年高速化した体制を機構し、課題を抱えた児童生徒の 問題経済に向け支援した。 特年版に上が、実際が発生体数は機能かではあるが、そ のうち機械支援を行っている数が増えている。	3	■成果: 周知・啓科に力を入れたことにより、スクールソーシャ ルク・カーの宗禮・活用が完実し、課題の解決・分析につながっ ている。 ■「守ともの権利」に関連して:「子ともの権利」が保障される よう、課題を称えた理主性に対して、その鑑かれている理典を 超える支援に努めている。 「整盟・指数機のスクールカックとサーとの連携をいっそう強 の、さらなる機り起こしを図りたい。	С	教育委員会事務局	数障改革推進担当
37	·o			225	人権オンプズバーソンと関係機関・団体との連携事業	各区のことも支援医、学校、関係機 関・民間和短機関等と世帯な連携を行 い、子どもの権利の機器の平期救済を図 る。	各区ことも対理保存は、原信銀行目が開始 均隔距差、人種側重数解推進法線、合同収差会 譲等で、制度の原則を行うなど、間隔線との 連携を図った。なよ、デモもの制度が自体数は 138件、デビもの放済受付件数は5件、発度調 曲は2件であった。	3	各区ことも支援室長会議、要保護児童会策地 域協議会、人権審重数階度建会議、合同内場会 議号で、制度の問題を行うなど、関係機関との 連携を図った。	3	要保護児童対策地域協議会、人権尊重教育推進会議、会 同校委会議等で、制度の周知を行うなど、関係機関との 連携を図った。	3	■原果:こども未来風、各区地域みまもり支援センター、教育委 負金省関係機関との連携が増れた。 ■「存そもの権利」に関連して、関係機関と連携して、子ともの 権力が参加について利取及が対象を行った。 ■課題:引き納きる権会議等を通して、さらにこども未来風、各 区地域みまもり支援センター等ご連携を図る必要がある。	С	市民オンプズマン事務局	人権オンプズパーソン担当



「第4次川崎市子どもの権利に関する行動計画」の評価について

平成 29(2017)年 11 月

発行 川崎市

連絡先 川崎市こども未来局青少年支援室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話:044-200-2344 FAX:044-200-3931

メールアドレス: 45sien@city.kawasaki.jp